**おおさかＱネット「大阪のみどり」に関するアンケート分析結果概要**

■実施日　　　平成30年８月31日（金）～９月２日（日）

■サンプル数　国勢調査結果（平成27年）に基づく性・年代・居住地（４地域）の割合で

割り付けた18歳以上の大阪府民1,000サンプル



大阪市域　　：大阪市

北部大阪地域：豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町

東部大阪地域：守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市

南部大阪地域：堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、和泉市、羽曳野市、

高石市、藤井寺市、泉南市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、

千早赤阪村

1.調査目的

　大阪府では、「みどりの大阪推進計画」を策定し、「みどりの風を感じる大都市　オンリー1」の実現に向け取り組んでいる。本計画に定めた各指標の進捗状況を把握し、持続可能な環境保全活動の実現につながる施策検討の資料とする。

2.主な調査（検証）項目

(1)計画指標

①大阪府域（全体）にみどりがあると感じる府民の割合

②大阪府域の都市部（市街地）にみどりがあると感じる府民の割合

③最近みどりに触れた府民の割合

3.主な調査（検証）結果

(1)計画指標

①大阪府域（全体）にみどりがあると感じる府民の割合は、40.3％だった。

②大阪府域の都市部（市街地）にみどりがあると感じる府民の割合は、34.6％だった。

③最近みどりに触れた府民の割合は、23.5％だった。

（注）

1.　「おおさかＱネット」の回答者は、民間調査会社に登録されたインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。そのため、アンケート調査の「単純集計（参考）」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。ただし、性別、年齢、地域に関しては、直近の国勢調査の大阪府の構成比に合わせている。

2.　割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。

3.　図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。

4.　図表中の上段の数値は人数（n）、下段の数値は割合（％）を示す。

5.　図表下にカイ2乗検定の値（p値）を記載しているものは、信頼度5％水準で統計上の有意差がみられたもの。

6.　複数回答のクロス集計については、カイ2乗検定を行っていない。

**1.　大阪（府域全体）にみどりがあると感じる府民の割合**

大阪府域（全体）のみどりの状況について、府民がどのように感じているかを調査した。「みどりが豊かだ」「ある程度みどりがある」と回答した人を【みどりがある】、「みどりが少ない」「みどりがほとんどない」と回答した人を【みどりが少ない】とする。

**1-1　単純集計結果**

* 【みどりがある】と回答した割合は40.3％で、計画指標の8割には達しなかった。

（図表1-1）

【図表1-1】





**1-2　地域別の集計結果**

* 地域別の【みどりがある】と回答した府民の割合については、大阪市域（28.1％）は他の地域と比べ低かった。北部大阪地域（47.2％）、東部大阪地域（40.4％）及び南部大阪地域（49.2％）では統計的に有意な差はなかった。（図表1-2）

【図表1-2】





**2.　大阪府域の都市部（市街地）にみどりがあると感じる府民の割合**

大阪府域の都市部（市街地）のみどりの状況について、府民がどのように感じているかを調査した。

**2-1　単純集計結果**

* 【みどりがある】と回答した人は34.6％であった。大阪（府域全体）の結果と比べると5.7％低かった。（図表2-1）

【図表2-1】





**2-2　地域別の集計結果**

* 地域別の【みどりがある】と回答した府民の割合については、大阪市域（25.8％）は他の地域と比べ低かった。北部大阪地域（40.2％）、東部大阪地域（36.4％）及び南部大阪地域（39.1％）では統計的に有意な差はなかった。（図表2-2）

【図表2-2】





**3.　最近みどりに触れた府民の割合**

　日頃の大阪府内での“みどり”へのふれあいの程度を調査した。各項目について「週に数回程度ある」、「月数回程度ある」、「年数回程度ある」と回答した人を【最近みどりに触れた】、「数年に１回程度ある」、「このようなことはない」と回答した人を【最近みどりに触れていない】とする。各項目の【最近みどりに触れた】割合の平均値を≪最近みどりに触れた府民の割合≫とする。

その結果、≪最近みどりに触れた府民の割合≫は23.5％であり、計画指標の8割に達しなかった。項目別にみると、【最近みどりに触れた】府民の割合として最も高かったのは、「みどりの多い町並みなどの散策（43.4％）」、次いで「自宅の庭などにおけるガーデニングなど（37.0％）」、「公園やみどりの多い施設等での余暇活動（36.5％）」と続いた。最も低かったのは、「自然環境保全等に関するボランティア活動への参加（8.8％）」、次いで「みどりに関する募金への寄附（9.8％）」、「公園や道路など公共空間における緑化活動への参加（10.8％）」であった。（図表3）

【図表3】



